

1. 釜山 2. ドバイ 3. 上海 4. シンガポール

1. 砂漠化を防ぐために、政府によって同じ場所に3日以上滞在することが禁じられているため。

2. 永久凍土の層が厚いため、地面を掘って基礎を築くことができないため。

3. 森林資源が豊富なため、周囲にある大量の木材を使い捨てにしながら移動するため。

4. 家畜の餌となる草や水を求めて、季節ごとに場所を移動しながら生活する必要があるため。

1. フランクフルト 2. リマ 3. ドバイ 4. ピッツバーグ

1. 東南アジアの諸国によって構成され、域内における紛争の解決や経済成長の促進を主目的としている。
2. 北米の特定の3か国間において、農産物や工業品の関税を撤廃し、投資のルールを定めることを目的としている。
3. 先進国だけでなく発展途上国も多く参加しており、多様な経済発展段階にある国々が協力して自由な貿易を目指す。
4. 加盟国間で共通の通貨を導入するとともに、加盟国間の関税を完全に撤廃して強力な経済統合を目指している。

1. 海に面していない内陸国である 2. 東南アジアに位置している 3. 大小さまざまな島からなる島国である 4. 国土の大部分が熱帯に属している

1. 一人あたりの国内総生産が約4万ドルに近く、バターやチーズなどの酪農品が輸出の第1位である。

2. 一人あたりの国内総生産は約3,000ドル台で、石炭やパーム油が主な輸出品となっている。

3. 一人あたりの国内総生産が比較的高く、原油や石油製品が輸出額の大部分を占めている。

4. 広大な土地を利用した鉱業が盛んで、主な輸出品は鉄鉱石や石炭、羊毛である。

1. 現地の食糧不足を解消するために、トウモロコシやイモ類を多品種生産し、地域内での流通を優先している。
2. 土地の所有者や経営主体は、かつての宗主国であるヨーロッパなどの外国資本や大企業であることが多い。
3. 生産される作物は、カカオやコーヒー、天然ゴムなどの特定の輸出品物に限定されることが多い。
4. 国際価格の変動によって国の経済が大きく左右される、モノカルチャー経済の要因の一つとなっている。

1. 域内の関税を原則として撤廃することで、貿易を活発にし、国際的な競争力を高めようとしている。

2. 食料自給率の向上を唯一の目的として、加盟国間での農産物の輸出入を制限している。

3. 日本や中国、アメリカといった太平洋を取り囲む多くの国々を含めた自由貿易圏を構築している。

4. 加盟国全体で共通の通貨を導入し、域内の金融政策を一つの銀行に統合している。

1. 広大な国土と膨大な人口を背景に、豊富な資源や労働力を活かして急速な経済成長を遂げているため。
2. 東南アジア諸国連合（ASEAN）のリーダーとして、域内の自由貿易を主導し経済圏を拡大させているため。
3. 1970年代から「漢江の奇跡」と呼ばれる急速な工業化を成し遂げ、いち早く先進国の仲間入りを果たしたため。
4. 国土は非常に狭いものの、中継貿易と高度な金融サービスによって、アジアで最も高い所得水準を実現したため。

1. ドイモイ（刷新）政策を導入して市場経済への移行を図り、外国企業の誘致を進めることで工業化を達成した。
2. 豊富な石炭や天然ガスなどの地下資源を背景に、エネルギー資源の輸出を経済成長の柱としてきた。
3. 広大な国土と山岳地帯の資源を活かし、銅の輸出が国内経済の大部分を占めるモノカルチャー経済となっている。
4. 1970年代から「ルックイースト」を掲げ、日本などの東アジアの国々の発展に学ぶことで工業化を推進した。

1. オアシス農業と日干しレンガの家 2. 地中海式農業と石造りの家 3. 焼畑農業と高床式住居 4. 遊牧とゲル

1. 広大な乾燥帯が広がり、日照時間が極めて長く灌漑農業に適しているため	2. 偏西風と暖流の影響により、年間を通じて温暖で降水量が一定であるため	3. 季節風（モンスーン）の影響により、夏に高温多湿となる地域が広く分布しているため	4. 永久凍土が広がる寒冷な気候により、病害虫の発生が抑えられているため
--------------------------------------	--------------------------------------	--	--------------------------------------

1. 西アジア 2. 東アジア 3. 南アジア 4. 東南アジア